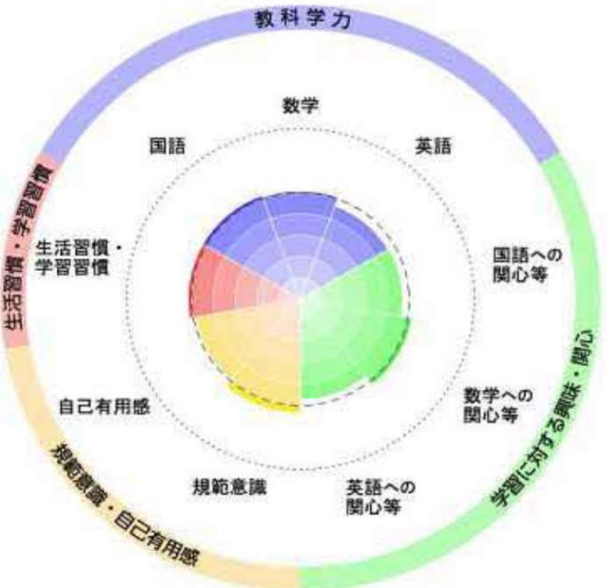


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策(松江市全体～中学校・義務教育学校後期課程)

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策(・)
国語	○漢字や心情を表す語句・文語のきまりや意味など、言語文化に関する知識及び技能。 ○記述式問題の正答率向上と無回答率低下。 ●情報と情報の関係を整理し、文章全体の内容を捉えること。 ●相手の立場や目的・条件を理解したうえで考えをまとめること。	・話や文章の内容をとらえるうえで、キーワードやキーセンテンス、原因と結果・意見と根拠など、叙述してある情報およびそれらの情報どうしの関係に留意しながら読むことを定着させる。 ・書いたり話したりする言語活動の中で、伝える目的や相手の立場・条件・媒体等に照らし合わせながら内容を検討し、文章を整えていく意識をもたせる。
数学	○数や文字を用いた式の計算、度数分布表や箱ひげ図を用いて表されたデータを数学的に処理すること。 ●自然数及び反比例の意味や空間における平面の位置関係について理解すること、平行線や角の性質を基にして平面図形を考察すること。 ●問題解決の方法や過程の説明、また図形に関する証明を数学的な表現や用語を用いて記述すること(無解答率も高い)	・個人思考や他者との対話によって、判断の根拠を数学的な表現を用いて説明したり、問題解決の過程や結果、証明を振り返ってその理由等を考察したりする活動を充実させる。 ・授業の中で新しく学んだことを振り返り確認するとともに、類題や発展問題において活用する機会をくり返し取り入れ、定着を図る指導を進める。
英語	●日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりすること。 ●社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと。 ●日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。	・何を聞き取ればよいかを把握したうえで、関連した語句や表現に着目して聞かせる。学習者用デジタル教科書を活用し、各自で音声の速さを選択したり、家庭学習においても基本練習や発展学習を繰り返したりして、英語の音声に触れる機会を増やす。 ・当該単元で学習した語や文法事項のみを使用して書く活動だけでなく、既習事項も含めてまとまりのある文章を書くことの言語活動を段階的に継続して行う。

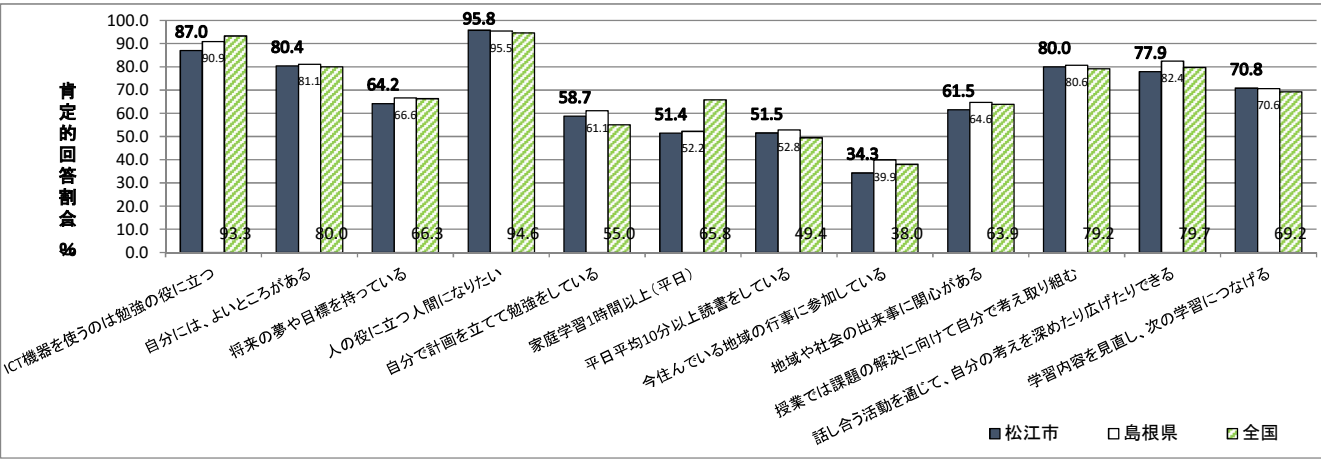
(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策(・)
質問紙	○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの、学習活動に取り組んでいる。 ○家で自分で計画を立てて勉強をしている。(授業の予習や復習を含む) ●学校の授業時間以外にPC・タブレット等のICT機器を使う頻度は全国並みにもかかわらず、授業で使う頻度は全国平均を大きく下回っている。 ●学校の授業時間以外に1日あたり家庭等で勉強する時間は、全国平均に比べ少ない。	・タブレット等を効果的に活用し、児童生徒が主体的・探究的に興味をもって学習に取り組める課題を設定する。また、授業で効果的にタブレット等のICT機器を使用するために、研修等を通して教員の知識や経験を深める。 ・保護者に積極的に情報発信し、家庭と学校が連携し共通した認識のもと、家庭学習に取り組める環境をつくる。

(3)生徒質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、松江市教育委員会として注目しているものを挙げています。)



【参考】平均正答率(%)

	松江市	島根県	全国
国語	70	70	69.8
数学	50	48	51.0
英語	39	40	45.6

【受検者数】 1,466 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。